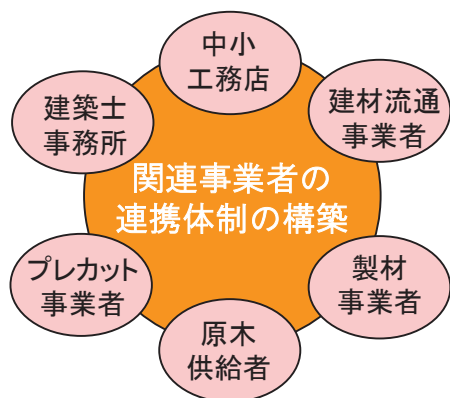


地域材の活用促進、安定的な木材確保等への 住宅局の対応について

令和5年6月
国土交通省住宅局
住宅生産課木造住宅振興室

地域における木造住宅の生産体制を強化し、環境負荷の低減を図るため、資材供給、設計、施工などの連携体制により、地域材を用いた省エネ性能等に優れた木造住宅(ZEH等)の整備等に対して支援を行うとともに、地域材の活用促進の支援を強化する。

グループの構築



共通ルールの設定

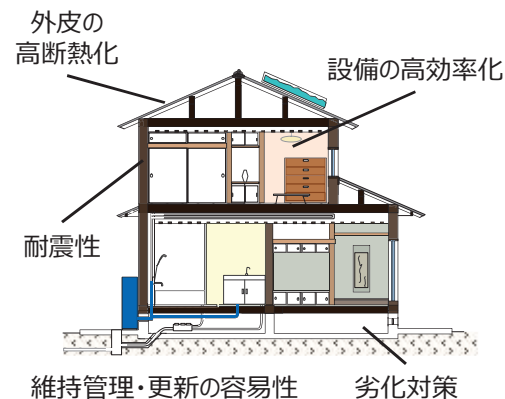
- 地域型住宅の規格・仕様
- 資材の供給・加工・利用
- 積算、施工方法
- 維持管理方法
- その他、グループの取組

地域型住宅の整備

【補助対象】

- 認定長期優良住宅
- ZEH・Nearly ZEH
- 認定低炭素住宅
- ZEH Oriented

補助対象となる住宅のイメージ



+

【加算措置】 ①～④の併用が可能

- ①地域材加算
 - 柱・梁・桁・土台の過半又は全てに地域材を使用
- ②和の住まい加算（地域住文化加算）
 - 地域の伝統的な建築技術を活用
- ③三世帯同居加算
 - 玄関・キッチン・浴室又はトイレのいずれか2つを複数箇所設置
- ④バリアフリー加算
 - バリアフリー対策を実施

【補助限度額】 140万円/戸 等

安定的な木材確保体制整備事業 (地域型住宅グリーン化事業の一部)

令和5年度当初予算：
住宅・建築物カーボンニュートラル総合推進事業(279.18億円)の内数

目的

木材の価格高騰・需給逼迫を踏まえ、中小工務店等による良質な木造住宅等整備の引き続きの促進を図るため、中小工務店、建材流通事業者、製材事業者、原木供給者など関係事業者の連携による安定的な木材確保に向けた先導的取組を促進する。

概要

①関係事業者等による協議会等のグループ設置

②仕組みの検討・システムの検討

- ・木材需要量、供給可能量、価格等に関する情報提供の仕組みの検討
- ・木材の安定確保のための取引・調達方法の合理化検討
- ・工務店等の与信や木材の過不足時の融通などのリスク対応の仕組みの検討
- ・既存システムの導入 等

③グループの体制整備

- ・事業者向けの説明会・研修会、消費者向け普及啓発 等

④省エネ性能等に優れた木造住宅の整備

認定長期優良住宅

認定低炭素住宅

ZEH・Nearly ZEH等

※グリーン化事業本体における支援(優先配分)

補助対象経費

下線部は令和5年度予算における見直し事項

- ・現況把握など必要な調査・整理
- ・検討資料作成、検討内容とりまとめ
- ・専門家への謝金、検討会の運営(会議室・機材のレンタル等)
- ・グループ関係者間で当面の需給情報をリアルタイムで共有するなど有効なシステムの大枠検討
- ・既存システム等の導入
- ・検討結果のグループ内事業者向け説明会 等

補助率・補助額

(補助限度額)

- ・体制整備等に係る費用 定額※ 1,000万円

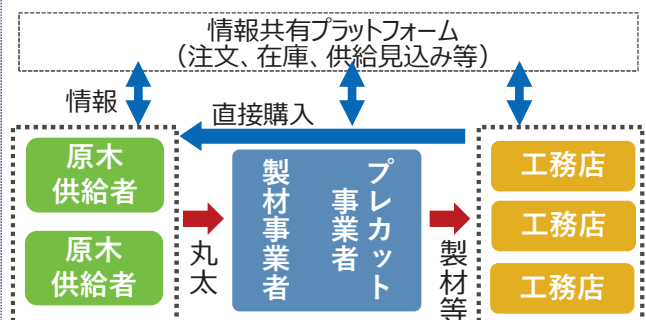
※既存システムの導入にかかる補助率は1/2以内

※応募状況や提案内容等にもよるが、10件程度の採択を想定。

事業主体類型の例

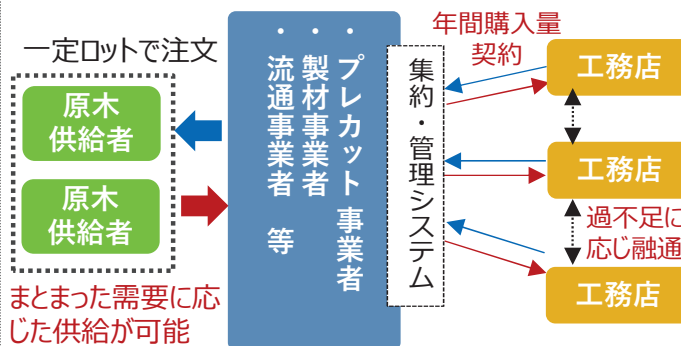
【川上・川下直結タイプ】

工務店側が原木供給者側と直接契約する仕組み



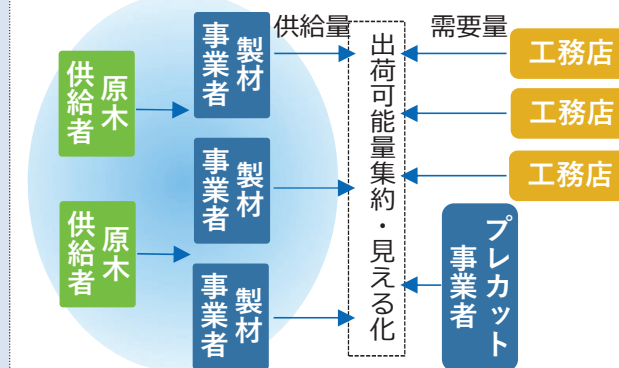
【需要集約-発注タイプ】

年間購入契約と過不足に応じた融通の仕組み



【出荷可能量集約-マッチングタイプ】

供給契約が可能な製材事業者等とマッチング



令和3年度・令和4年度「安定的な木材確保体制整備事業」採択グループの概要

- これまで12のグループの取組に対して支援。
- 体制の整備等が完了したものについて、今後、事例の展開を図る。

年度	No	グループ名	提案の概要
令和3年度補正	1	(一社)愛媛県中小建築業協会	<p><u>部材の共通化</u>：各工務店が使用する木材の樹種・寸法等を共通化。川上・川中による生産・加工が大ロットで計画的にでき、安定確保に寄与。</p> <p><u>年間購入契約</u>：工務店、製材事業者及びプレカット事業者が調整し、原木供給者と年間の購入量等を予め契約。川上・川中による生産・加工が計画的にでき、安定確保に寄与。</p> <p><u>需給情報の共有</u>：原木供給者、製材事業者、プレカット事業者、工務店各社が、システムを通じて需要量や供給量等の情報を共有。各主体の需給情報が共有されることで、川下、川上・川中はそれぞれ計画的に工程計画、伐採・製材ができ、安定確保に寄与。</p>
	2	(一社)JBN・全国工務店協会	<p><u>工務店の原木直接購入</u>：工務店が原木供給者から直接原木を購入し、製材事業者やプレカット事業者に加工を依頼。木材需要が高まっても直接購入した原木は確実に入手でき、流通過程で他事業者に買い負けて木材が確保出来ないリスクを回避。</p> <p><u>需給情報の共有</u></p>
	3	(一社)神奈川県木造住宅協会	<p><u>製材として流通しにくい材の活用</u>：曲がり材や見た目が劣る材を集成材等として活用するため、工務店が川上・川中と連携し強度試験や製品開発を実施。通常は流通しない材の有効活用により、木材の安定確保に寄与。</p> <p><u>年間購入契約</u></p> <p><u>工務店間の木材融通</u>：工務店の木材量が、想定していた需要を上回る等の場合、グループ内の工務店間で木材を融通することができ、安定確保に寄与。</p>
	4	ぎふの木ネット協議会	<u>部材の共通化</u> 、 <u>年間購入契約</u> 、 <u>需給情報の共有</u>
	5	(一社)TOKYO WOOD 普及協会	<u>製材として流通しにくい材の活用</u> 、 <u>需給情報の共有</u>
	6	木造版ECI普及推進協議会	<p><u>需要の予測</u>：過去の受発注データや在庫状況データ等をもとに木材の需要を予測。木材の事前の発注が可能となり、安定確保に寄与。</p> <p><u>需給情報の共有</u></p> <p><u>共同購入</u>：グループ内の工務店で必要な木材量をまとめて発注。川上・川中による生産・加工が大ロットで計画的にできるようになり、安定確保に寄与。</p>
	7	きのくに家(や)ネットワーク	<u>需給情報の共有</u>
	8	長崎すて木な家づくりの会	<u>部材の共通化</u> 、 <u>需給情報の共有</u>
	9	(一社)JBN・全国工務店協会	<u>工務店の原木直接購入</u> 、 <u>需給情報の共有</u>
令和4年度当初	10	里山製材所	<u>需要の予測</u> 、 <u>需給情報の共有</u>
	11	共緑会 木材供給部会	<u>部材の共通化</u> 、 <u>需給情報の共有</u> 、 <u>需要の予測</u>
	12	彩の香り杉SCP協議会	<p><u>需給情報の共有</u></p> <p><u>木材の分散ストック</u>：工務店で資材を一括購入して川中でストック。在庫情報を共有し需給量の変動に対応。</p>